

「サッカーを楽しむ会」 卒会記念マッチ



の戦いである。申し訳ないが、今回も勝たせてもらおう。しかし、地力に勝る青年部が序盤からのリードを譲らず、結局は3-9の完敗に終わった。

去る5月25日(土)、「JOY FOOT よなご」において、当チームの卒会選手を贈る記念フットサル・マッチが開催された。対戦相手は、かつて鳥取パードスタジアムで我々が奇跡的な勝利を取めた、因縁の米子商工会議所青年部。相手にとって不足はない。しかも今回は、夏野選手のご子息・傑(すぐる)君と洋輔君を擁して

当チームは試合には敗れたものの、終始マイペースで和気あいあいとゲームを楽しむことができたのではないだろうか。試合終了後、堀田(収)選手と近岡選手を順々に胴上げし、これまでの活躍を労った。夕方には場所を「じごん渠」に移し、合同慰労会を開催。試合には出場できなかった岡本選手も駆けつけた。キリンチャレンジカップ2002「日本×スウェーデン」戦をTV観戦し、ワールドカップへのおもいを馳せながら、両チーム仲良く美酒に酔いしれた。

最後になりましたが、堀田(収)選手・近岡選手・岡本選手、長きにわたる中央会での活躍、本当にお疲れ様でした。が、「サッカーを楽しむ会」には卒会はありません。OBも貴重な戦力ですので、是非とも末いご参加をお願い申し上げます。

【試合結果】
TSC 3-9 米子商工会議所青年部
【TSC得点者】
夏山選手、後藤(公)選手、夏野(洋)選手 (広報：尼子 健)

「サッカーを楽しむ会」卒会寄稿文

近岡 一幸

その昔、西ドイツ代表の“皇帝”ベッケンバウアーや“爆撃機”ゲルト・ミュラーが世界のサッカー界の頂点として活躍していた頃、村野武絶が熱血先生を演じる青春ドラマ「飛び出せ！青春」が放映され、サッカーが根性の代名詞として描かれていました。小生も青春の真っ只中にその身を置き、蹴球というスポーツに魅力を感じたものであります。

年月は流れ、現在青年中央会に在籍し、まさか26年ぶりにボールを蹴ることができるとはおもってもいませんでした。しかも鳥取パードスタジアムのピッチに立てるとは…。感動・感激！このような機会を小生に与えてくださった「サッカーを楽しむ会」の世話人各位に心より感謝を申し上げますと、今後の会のご発展とご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。

サッカーを楽しむ会を振り返って

岡本 康朋

いつから部員になったのか？思い起こしてみたら2年前、青経連の交流事業でフットサルをやるとのこと。練習をするのに人が足りない。人数合わせに、と参加したら即部員。サッカーを楽しむ会の規約(?)にひっきり部員にさせていただきました。

ただ、試合当日の参加がほとんど出来なかったことと、パードスタジアムに行けなかったことが心残り。唯一参加したのが元旦決戦(普通、こんな日にするかいなあ)。家族の暖かい(?)視線を背中へ受けて出掛けたのを思い出します。

期間としては短かったのですが、楽しませていただきました。部員の皆さんこれからも頑張ってください。本当にありがとうございました。

卒会記念マッチを終えて

堀田 収

たまたま声を掛けてもらっていたって気軽に入会しましたが、ルールはまるっきりわからず、もちろんオフサイドが何なのかも知りませんでした。ことワールドカップのテレビ中継の日本戦はおもいきり応援に力が入りました。

また、昨年SC鳥取の前座試合で、パードスタジアムのピッチに立てたのは素晴らしい思い出です。なんと私と桶村さんがトップだったんですよ。

サッカー同好会は、私にとってプレミアムな楽しみであり、サッカーをプレーするのはそこそこでしたが、みなさんとはしゃいで飲んで騒いで楽しかったです。これからもみなさんがサッカーを通じて、大いに盛り上がってくだされば楽しみが広がるとおもいます。短い間でしたがありがとうございました。

新旧役員会報告

新旧役員会が平成14年7月1日(月)、ホールサムインかいけに於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 平成14年度通常総会提出議案審議の件
- (2) 8月例会開催の件
- (3) トライアスロンボランティアの件
- (4) その他

7月例会案内

とき 平成14年7月15日(月) 18:30~
ところ ホテルサンルート米子
内容 通常総会・特別表彰・卒会式・会員表彰

天声 夢 語

「武士道」という本を読まれた方は多くおられるとおもいますが、私も先日読み直したところでした。「武士道」の著者は新渡戸稲造氏で、ベルギーの法学者との会話で「日本には学校教育の中に宗教教育が無い」「宗教教育無しで道徳教育をどうするのか」「道徳教育を学校で授かっていない」「日本人の道徳教育は***と武士道が原点」「無意識に先祖代々親から子へ」とそこから本文が始まるのです、本文の中で「人に勝ち、自分に克つ強靱な精神力を鍛える」という大項目があり、私には夢のような行動規範ですが以下の小項目に興味を持っていただけたら幸いです。

- 「勇」：いかにして肚を錬磨するか
- 「仁」：人の上に立つ条件とは
- 「礼」：人とともに喜び、人とともに泣けるか
- 「誠」：何故「武士に二言は無い」のか
- 「名誉」：苦痛と試練に耐えるために
- 「忠義」：人のために死ねるか

知的生きかた文庫「武士道」奈良元辰也氏訳・解説を読んだ感想

言わしてごしない Part 12

最近、「ラン・蘭・らん・orchid」の魅力は何だろうと考えることがある。我が家の愛妻、愛娘が言うには「お父さんはラン熱中病！」だとか…。そういえばある書籍にあるラン栽培家の言葉が引用されていた。「アルコールやタバコはやめることは出来る。他のことも何だって絶つことは出来る。だが、ランにとりつかれたらおしまいだ 逃げることは出来ない。絶対に…」

タバコをやめて1年、大いにうなずいてしまう自分が恐ろしい。今、ランをやめてしまう自分を想像出来ないのだ。こんなことを言うと皆さんは、「総会で大立ち回りを演じたあの〇〇〇が…」と、まず信じていただくことは無理なのかとおもおう。実際、ある先輩の方と趣味の話に興じた時、瞬間ほとんど放心状態になり、信じられないといった表情を見せられたことは記憶に新しいところである。

なぜ、ランはこれほどまでに私を惹きつけるのだろうか？ひとつには多種多様であるということが挙げられる。皆さんにも、「あるキッカケから何かを好きになり、その良さを味わえるようになる」とその収集物がもっと良い味を醸し出し始めてくる。そして、求めれば求めるほど手の届かない処にいたり、そうかとおもえばすぐ目の前に現れたりする、そういう道を1度は歩まれたことがあるのではなからうか？

私も切手やコインにはまった時があった。しかし、ランはそれ以上に多種多様でそれぞれに何とも言えぬ深い味わいがある。知れば知る程、種類が見分けられるようになる。未知の属のランには強い魅力を感じずにはいられない。どこから花芽が出てきて、どんな花をつけるのか？など、非常に気になるのである。なにせ世界で700属2万種。日本では屋久島、種ヶ島以北で63属170種があるそうだ。生半可な種ではない。そして、育てる人間の中にはカトリア300鉢、パフィオペディラム200鉢、ラン500鉢などというとてもない方々がいらっしゃる。いやはや私など井の中の蛙どころかまだまだ卵である。

一度自生しているランを一目見るために山に踏み込んでみたい衝動にかられる。さすがに、「パフィオペディラム・サンデリアナム」(ボルネオ島に自生している垂涎的ラン。いわゆるorchid of the king)というわけにはいかないが、ランに出会うまではただの草と木だけの世界が、まるで違ってきていることに気がつくのである。この世界、どこまで奥が深いのか、どこまで美しく見えるのか、追いかけてみたい。

(副会長：ラン田寿夫)

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 岩田慎介 編集責任者 萬田寿夫 印刷所 東京印刷社

1年を振り返って

鳥取県西部中小企業青年中央会
第27期会長 岩田慎介

本年は「新世紀、原点への回帰」をスローガンとし、鳥取県西部中小企業青年中央会が昭和50年設立から今日に至るまでの不動のテーマである「魅力あるづくり」とはどのようなづくりを目指したのかを再考し、当会の重い伝統と歴史を今一度原点に帰り見つめ直したいという想いで活動してまいりました。

そして、この新世紀を「個性の時代」と位置づけ、今後当会が所属会員ひとりひとりをこの激動の時代に即した個性ある立派な経済人に育て上げ、所属企業にフィードバックするためにはどうすればよいのか？また、真の経済団体であるために、個々の成長と団結力を図るためにはどうすればよいのか？の2点を念頭に1年間活動してまいりました。そして、その成果は？と問われれば、それは会員の皆様ひとりひとりの判断によるものであります。

さて、本年度の委員会活動は、バラエティーに富んだ委員長メンバーのもと本当によく頑張ってくれました。また、今年度は副委員長会議が開催され、当会全体の諸問題を本音で語り合い、充実した時間を過ごしたと聞き、大変喜ばしくおもっております。

きずな委員会は湯原委員長のもと、「女性」という難解で奥深いテーマに対し、男女共同参画社会を踏まえて、女性への理解を深めることに努力してくれました。経営委員会は岩崎委員長のもと、25周年FV委員会提言書の「OBとの交流」の課題にもあったことを実践し、当会OBを毎月講師にお招きし、かわいいう後輩たちのために本音で語っていただき、研鑽と交流を重ねました。情報メディア委員会は、若槻委員長が島山副委員長の能力を存分に引き出し、「ホームページ、メーリングリスト、協業サイト」の継続事業の中、限られた時間内で情報とメディアを広義的に研修されました。政治行政委員会は伊藤委員長のもと、時のテーマである「市町村合併」を2市2郡の会員からなる当会の独自のカラーを全面に出し、活動してくれました。特に青経連では中心で頑張っていた働き、さすが西部青年中央会！と感じさせてくれました。

モラル委員会はテーマが広義であったために大変だったとおもいます。しかし、私自身「モラル」という定義を1年間会員に意識してほしいという想いがあり、新設させていただきました。潮委員長は個人的には仕事の面で大変だったとおもいますが、この1年間の活動を必ず今後に役立てて下さい。広報委員会は当会初の女性委員長となった桶村委員長のもと、ハンサムな編集では実名寄稿・表現の統一また新企画の立案・実行、そしてそれだけにどまらず「知的所有権」の小冊子発行も実現されました。さぞ委員会の皆様も忙しかったとおもいます。素晴らしい小冊子で感動しました。総務委員会は久古委員長のもと、一を言えば十わかってくれるような安心感があり、頼りになりました。特に「OB交流会」は思い出深いものになりそうです。最後に、Newカマーズ委員会は、「新入会員」に対して自分の弟に接しているかのような高田委員長の姿が印象的でした。あなたの個性が存分に発揮され良かったとおもいます。また、潮委員長同様仕事面で大変だったとおもいますが、委員長を経験したことを今後活かしていれば幸いです。

以上、各委員会に対して私の想いを述べさせていただきましたが、各会員の皆様には、私のような会長に1年間おつきあいでいただき本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

最後にありがとうございました。私を全て理解してくれフォローしてくれた浜田筆頭副会長ならびに岡本副会長、熱血漢で行動力ある萬田副会長、私の知恵袋でよく相談相手であった同期の前田副会長、若手代表の武海副会長の皆様にお礼を申し上げます。また、いつも温かくご指導いただいた土井直前会長、そして県の事業はまかせきりだった奥森直前県会長に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

温故知新

今月は、1年間重責を見事に務めあげられた「Mr. 温故知新」岩田慎介第27期会長に熱き想いを語っていただきました。

【入会当時のことを聞かせてください。】
20代後半で入会させていただいたときは、先輩の皆様がすごく大人に見えて同僚の仲間意識とかは正直言ってなかったです。何か別の世界の人たちにおもえて、むしろ孤独感があったことを記憶しております。しかし、同時に「この人たちはどういう人たちなんだろう？」と、興味という好奇心を抱いたのもまた事実でした。

【1年間を振り返ってみていかがですか？】
最高に充実した1年間でありました。肝臓の機能が若干低下したことと尿酸値が高くなったこと以外は…。あとは、今年1年私が云わんとしたことが、中央会の皆様と自分自身の心の中に残り続けることを願うだけです。

【OB会員の方に一言お願いします。】
この1年間、温かく見守っていただき、ありがとうございました。特に、7月総会において多くのOBの皆様にご出席いただいたこと、

また最高に盛り上がったOB交流会等、素晴らしい思い出ができました。

【最後に現役会員へ一言お願いします。】
目指せ、メジャーリーガー！！

【後記】
湧き出る想いを前面に出し、エネルギーに活動された岩田会長の姿と“親父の背中”をオーバーラップさせた会員は私だけではないはずです。これからも現役会員の手本となつていただきますようよろしくお祈りします。
(広報：夏山裕一)



6月例会報告

～今年度委員会報告ならびに次年度委員長抱負～

最初に、岩田会長が「めざせメジャーリーガー」として、「そこそこのプレイヤーではなく、人間としてのモラルを軸に「基本のできた個性派」になろう。」と会長としての最後の話をされた。心に沁みる。続いて第18期ご卒会の岩田OBの手術に関して、輸血の協力やお見舞いのお礼を、同期の中島OBが心を込めて述べられた。世代を越えた中央会の絆に胸がジンとする。締めくくりのトライアスロンタイムでは、プロジェクターでボランティアの様子をクイーンのBGMで再生した後、土井直前会長をはじめとするトライアスロン実行委員会のメンバーが壇上で、当日全員参加の意味も込めて「やるぞ！やるぞ！やるぞ！」の大合唱。実行委員会の面々の瞳にメラメラと燃えあがる炎とかすかな羞恥を見た。しかし、このときすでに予定を15分オーバー。「やるぞ！やるぞ！」と右手の拳を振り上げながら、担当の委員長は時計を気にする。

1年間の実績を携えた委員長たちが、速やかに前の席に移動し、いかにも喋り慣れた感のある湯原委員長から順に発表していった。よき伝統に則って絶妙のかけ声が飛び、発表者もそれに応える。時に緊張し、時に弛緩し、それぞれが委員長としての成長ぶりを示し、役員や委員会メンバーに対する感謝の意を述べていった。顔で内容をカバーし、終了のチンという鐘の音にもめげず、まことちゃん(某副会長ではない)もどきの「ぐわし」で笑いをつかみ…詳しい内容については後日の委員会報告書に譲るが、どの顔にも新しい自分をつかんだ、という自信に満ちていた。



つづく次年度門協会長のスローガン「勝負」、テーマ「想いをかたちに」という話は次第に具体化し、新会長の想いは1年後には明らかになって全員に浸透していることだろう。その想いをすでに垣間見た次年度委員長たちの抱負が発表されていく。緊張感を経験者たちに比べれば当然強い。ぶっつけ本番の人、カンペを取り出す人、カンペを忘れる人、すでに年度方針が決まっている人、まだもがいている人、この日のために散髪した人、会場から叱咤される人、と十人十色。表現方法は違っても次年度委員長によるそれぞれの想いが披露された。期待は◎である。「基本にもとづく個性」を発揮して、ぜひ新しい自分をゲットし、新しい中央会を切り開いていただきたい。



最終的に時間内にピタリと収めるところが中央会の結束力か？司会とタイムキーパーのあやしいアイコンタクトのなせる技か？新理事だけではなく、ともに考え、ともに笑い、ともに気を引き締める、年度のトリにふさわしいすばらしい例会であった。

(広報：岩崎俊和)



知的所有権
を
主
体
と
し
て
の
活
用
ニ
シ
テ

平成14年度西部青年中央会運営方針決定

スローガン 「勝負」

(自己との戦い 要は人なり)

テーマ 「想いをかたちに」

(共創の知)



6月度委員会報告

きずな委員会 平成14年6月8日(土) 於：海潮園 出席者/10名 内容/堀田監事・中澤会員のご卒会を記念して打ち上げ会	Newカマーズ委員会 平成14年6月26日(水) 於：岩崎館 出席者/14名 内容/打ち上げ
情報メディア委員会 平成14年6月11日(火) 於：海潮園 出席者/13名 内容/打ち上げ	政治行政委員会 平成14年5月8・9日(土・日) 於：福岡県 出席者/9名 内容/県外研修と打ち上げ
モラル委員会 平成14年6月7日(金) 於：じごん東 出席者/10名 内容/1年間の総まとめ	広報委員会 平成14年6月5日(水) 於：デリラウンジ夢 出席者/14名 内容/①ハンサム7月号担当割 ②6月担当例会の詳細打ち合わせ
経営委員会 平成14年6月12日(水) 於：岩崎館 出席者/12名 内容/1年間のまとめと打ち上げ	総務委員会 平成14年6月21日(金) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名 内容/7月総会打ち合わせ

平成13年度皆勤賞・精勤賞対象者

皆勤賞

- 〔きずな〕 山城克己
- 〔経営〕 岩崎康朗
- 〔情報メディア〕 若槻 聡、加藤典史、中原浩二、堀江則夫
- 〔政治行政〕 伊藤玉一
- 〔モラル〕
- 〔広報〕 桶村清子、後藤公平、植田寿雄、中本高夫、渡辺一徳
- 〔総務〕 久古雅彦、堀田 一
- 〔Newカマーズ〕 高田孝志

精勤賞

- 〔きずな〕 湯原俊二、夏野慎介、平新武志、山根宏典
- 〔経営〕 大田修一、松浦光喜
- 〔情報メディア〕 畠山広幸、松江智雄
- 〔政治行政〕 高村和也、石指 智、清川博敏、近岡一幸、長谷川貴久
- 〔モラル〕 潮 邦昭、田中栄治、後藤太良、後藤秀之
- 〔広報〕 尾子 健、岩崎俊和、手島武司、夏山裕一、平野忠司、水 康徳
- 〔総務〕 清水敏一、門脇幸一、拝藤博幸
- 〔Newカマーズ〕 竹中和孝、徳中志伸、中津尾直己、山本良文

所属企業変更のお知らせ

高田孝志会員

(変更前) 有限会社高田ゴム工業
(変更後) 大海通産株式会社
〒684-0034 境港市昭和町34番地
TEL 0859-44-0301 FAX 0859-42-6021
業務内容：運送業、自動車整備業、包装資材等販売業

コピーをして名簿にお貼り下さい

(Newカマーズ)

中田 耕治 B型
 (前)中田石材工作所 取締役社長
 墓石販売・加工業
 〒684-0032 境港市元町1792
 TEL 0859-44-1483 FAX 0859-44-0520

H14.7入会
 (推薦者) 堀田(収) 堀田(一)

〔自宅〕 境港市元町58
 〒684-0032 S37.12.21 TEL 0859-44-1483

(コメント)
 この度入会させていただく事になりました中田耕治です。境港で前中田石材工作所を営んでいました。今まで中央会の話は先輩からよく聞いておりました。多方面・多角的な活動。勉強会をさせていただいて内心とても興味がありました。混沌とした時代だからこそ元気を出して、多くの方と出会い、話が出来ればとおもいます。中央会の趣旨を理解し、微力ではありますが前向きに活動していく所存ですので皆様、ご指導ご鞭撻の程、どうか宜しくお願いします。